



2009 年度第 1 号



2009 年 4 月 4 日

新年度を迎えて



にしし こうよう
理事長 小西 光洋

この度は、お子様のご入学、ご進級誠におめでとうございます。春休みもあつと言う間に過ぎ、新年度がいよいよ始まりました。日本に帰省されていた方々の中には、記録的な暖冬により早めの桜の開花を満喫された方々もいらっしゃるかと存じます。

さて、この度、縁あり本校の理事長を務めさせて頂くことになりました。一年間どうぞ宜しく御願い致します。

皆様も既にご存知のように、本校は、今年で創立 40 周年を迎えます。1969 年 11 月 26 日付けでカリフォルニア州に提出された基本定款により、サンフランシスコ日本語補習校は、カリフォルニア州非営利法人としての一步を歩み始めました。その後、多くの保護者の方々や地域社会の御支援を受け、今では 1200 人も生徒が在籍する米国 2 番目の補習校にまで成長しました。本校が創立された同じ年の 7 月 20 日、38 万キロ離れた月では、アポロ 11 号の着陸船「イーグル」が、月面の「静かの海」へ着陸成功し、ニール・アームストロング宇宙飛行士(39)が、人類始めて月面に降り立つという驚異をやり遂げました。月面からの白黒の映像は遠く地球に届けられ、世界中 6 億人も視聴者が息をのんでブラウン管に釘付けになりました。その時のアームストロング飛行士の発言「これは、一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては大きな飛躍である。」(“That’s one small step for a man, one giant leap for mankind.”)はあまりにも有名です。

その 4 ヶ月後に創立された本校は、小さな学校でしたが、北カリフォルニアに住む日本人にとっては大きな飛躍でした。40 年経った今、この補習校が更に次の世代、その次の世代のために健全に存続できるよう引き続き皆様の御支援、御協力を賜るよう御願い申し上げます。



校長 植木 達策

平成 21 年度が始まりました。本年度も理事会、保護者の方々の本校へのご支援、ご協力を得ながら学校運営を致したいと思っております。よろしく御願い致します。

さて、先日(3月21日(土))中高部サンノゼ校(Kennedy Middle School)

で4校合同の主任会を開催いたしました。この会では、平成 21 年度の学校としての方針を発表し確認すると共に、各学校の来年度の方針や申し合わせ事項の検討等をおこない、新年度に向けての気持ちを新たにしました。

学校としての今年度の実践目標は、1 番目に、「日本語

をはなそう。」を引き続き行い、子どもに考えさせ、成長を感じさせる指導をし、それぞれの子どもに応じた到達課題を考えさせ取り組むようにします。2 番目には、講師の目標として「分かる授業、参加できる授業」の実践をおこないます。具体的には「1 時間で何を習うかわかる授業の工夫。協力し、高め合う学年集団づくり。」をおこない、柔軟に対応できる教員の育成をめざします。2 つの学校に通う補習校の子ども達は、多くの宿題や学習に多大の力を注がねばなりません。そうした中で教える側の講師の先生にも土曜日に向けての努力が必要になってきます。保護者の方も学校の行き帰りの送迎や日本語を学ぶ環境作り、日本への体験学習と物理的にも精神的にも様々な労力などが必要となります。あげれば大変なことばかりですが、悲観的に考えるのではなく、ポジティブに考え、普通にはできないことを、自分たちにはできるチャンスを与えられていると考え、今をがんばる気持ちが持てればと思います。子ども達、学校、保護者が同じ気持ちになり助け合うことができれば、子どもたちが、より意欲的に学習ができる環境が出来ると思います。

さて、今年度はいよいよ本校の創立 40 周年記念の年となります。本校が創立されてより今まで維持できたのは、これまでのその年その年の理事会、保護者会、学校、そして地域の方々の献身的なご努力があったからに他なりません。この間、補習校を巣立っていった人たち(今では大人)は多数に上りますが、私がおの人達の話聞いた中では、補習校に行っていてよかったという声は聞きますが、補習校に通ったことに対して疑問の声を聞いたことはありません。それだけそれぞれの時代の関係者の人たちが努力をされた賜なのでしょう。そして今、補習校を卒業された多くの方が、自分の子どもを補習校に入れておられます。そのような方の話で「私は実は補習校に通っていたんです。当時補習校に通う通わないでいつも母と大げんかをしていました。母は、『補習校に通うこと以外なら何でもしてあげる。だけど補習校を辞めることは絶対に許さない。』と頑として許してくれませんでした。でも今では、母親に感謝しています。」という声を聞きました。今でもこの問題は補習校の課題で、補習校に行く行かないの問題は繰り広げられています。特に中学 1,2 年生の年代は不安定な時期でこの悩みを持たれている子どもや保護者の方もおられると思います。補習校永遠の課題でしょうか。

ここに、30 周年の年の理事長の投稿の最後をこう締めくくっておられます。「次の 40 周年、50 周年記念に向けて本校の全ての関係者が世界に自慢できる生徒を送り出すことを最大の目途として日夜努力され、またご支援いただくことを信じています。よろしく御願いします。」

私たちは今、この先人のバトンを受け継ぎ 40 周年記

念を迎えます。この営みを絶やさず、実り多いものにしていくためには、関係者の皆さまのご支援をご協力をいただき、手と手を取り合って本校を維持し、一步、一步高みにあげていく必要があります。今後ともよろしくお願ひいたします。

2009年度理事会の役員構成

理事長	小西 光洋
副理事長	賀川 正人
財務役	西郷 リベカ
監査役	松波 博之
事務総長	青柳 伸之

2009年度理事の所感・抱負



あまがわこうじ
雨川浩之

この日本語補習校には長所がたくさんあります。小学部の息子を通じて2年、理事会で1年経験してそう言えます。理事2年目は、この長所を補習校の外部にもありのまま伝えていくように、また短所は改善策を具体的に検討するように努力します。



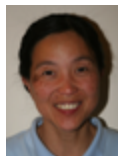
かがわまさひと
賀川正人

昨年に引き続き本年度も理事を拝命致しました賀川正人と申します。昨年1年間本校の運営に携わり、大変多くの方々から支えられて40年間の歴史を歩んできたことを学びました。またその歴史に少しでもお手伝いできたことを光栄に思います。私もアメリカ生まれの2人の子供が本校小学部に通っておりますが、日本語で習うことのみならず、日本語を使う生活の場としての補習校の存在はとても大切なものと感じます。本校に通う幼児・児童・生徒および保護者の皆様のみならず、補習校を支えてくださる多くの皆様にもこの大切さをご理解いただけるように、そしてサンフランシスコ日本語補習が未永く継続してくように理事として出来るだけのことをさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。



くぼ たかずきよ
久保田一清

皆様からの御負託を頂戴し、在野より立たせていただきました。容姿端麗、頭脳は凡庸、補習校で9年間教員を勤めましたわたくしが、明るい学び舎を守ってまいります。金曜日、宿題終わらず共に泣き土曜日は、なだめすかして子を送る…わたくしは、そんな保護者の味方です。共に手をとって苦節曲折乗り越えて、目指そう世界の架け橋を。



さいじょう
西郷リベカ

3人のうち上の2人の娘たちはオクラホマ州生まれ。日本人も殆どいなければ日本語学校ももちろんありませんでした。教科書を取り寄せたり、両親に本を送ってもらったり、5時間離れたテキサス州の日本語学校に行くかと、日本語教育について四苦八苦していました。ちょうどそんな時にベイエリアに移ってきまして、朝の朝礼で始まる補習校を見た時に「ここに日本がある！」と感激しました。国際社会に生きる子供たちには日本人としての自覚と誇りはなくてはならないものだと思います。子供たちの為に保護者はもちろんですが、先生方、派遣の先生方、事務局、理事会、そして日本の文部科学省、外務省が背後で大きく支えてくださっています。このようなたくさんの助けを得て40年続いた大規模補習校は世界に数少ないと思います。さらなる補習校発展の為に、この1年間理事会も楽しくお手伝いさせていただきたいと思ひます。



さかいとしあき
坂井利彰

この度、2009年度の理事をさせていただくことになりました坂井です。二人の子供達は昨年12月からSF校にお世話になっております。実を言いますと、初めは補習校に子供達を通わせるつもりはありませんでした。私達は数年で日本に帰国する予定ですし、毎週土曜日に1時間半ほどかけて通うほど日本語での勉強が必要とは思いませんでした。日本語を話せる環境は魅力的でしたが、それ以外の情報を持っていませんでしたので、家で勉強(通信教育等)で十分だと考えていました。最終的には、日本語で話せる友達もほしいという子供の希望で通学することにしましたが、補習校に関する様々な情報があれば、いらぬ心配をすることなく、補習校にお世話になれたのではと感じました。適切な情報を校内外に提供することにより、多くの方々に補習校を知っていただき、子供達を通いたい、保護者の方々にも子供を通わせたいと思ってもらえるように尽力していきたいと考えておりますので、宜しくお願ひいたします。



しばたひでき
柴田英希

はじめまして。この度理事会にサンノゼ保護者会会長として参加させていただきます柴田英希です。理事会と聞いて、「えっ、そんな所に私が参加しても良いのですか？」と言うのが私の正直な気持ちでした。しかし先日理事会引継ぎに参加させて頂き、新旧理事の方々にお目にかかり、その心配も何処かへ行ってしまうました。皆さん色々な分野でご活躍されていて、とて

も心強く感じられました。分からないことだらけで、戸惑うこともこれから沢山出てくると思いますが、先輩方に支えて頂きながら、子供たちのため、補習校のために一念発起して頑張っていく所存でございます。一年間どうぞよろしく願いいたします。



はしずめひろ や
橋本浩哉

昨年度、SF校の保護者会より理事会に出席して一番感じたことは、保護者の学校に対する願いと学校側の指向の乖離でした。教科を削減せず、安定した環境のもと質の高い教育を求める保護者と、生徒に規律を求めながら先生方の研修を優先したい学校とのちがいです。今年度は理事会として少しでもこの乖離を埋めることが必要だと思います。多くの子供が集い、学習効果があがり、それぞれの子供達の将来に役立つ補習校となることを目標したいと思います。



ふじい
藤井グレン

去年の経験を生かしてより良い学校運営の為に尽力を尽くしたいと思います。どうか宜しくお願い致します。



ほかりまさゆき
保刈正行

サンノゼ校保護者会副会長として理事会に参加させていただきます。補習校には本年3人の子供たちがお世話になります。幼児・児童・生徒たちがいま楽しく学べ、また大人になったときにも補習校に通ったのは良かったといえるよう協力したいと思います。本業であるソフトウェア開発と趣味の写真撮影も生かすことができれば幸いです。理事会、保護者会役員会のほか40周年委員会にも所属させていただいておりますので、これらの潤滑油役になればと思います。このような稀有な機会に恵まれたのも何かの縁と思い、全力を尽くしたいと思います。



まつなみひろゆき
松波博之

昨年度に引き続き、法規委員長兼監査役を担当させて頂く事になりました。今年が、本校の創立40周年に相応しい、すばらしい一年となるよう微力ながらお手伝いをさせて頂きたいと思っております。また、昨年度の経験を活かし、更に次の50周年を目指した諸制度の改善/強化、補習校の魅力向上、教育環境の充実化などに、是非取り組みたいと思っています。よろしく願い致します。



みやけたかあき
三宅孝明

この度、サンフランシスコ校保護者会から理事会に参加させて頂くことになりました。正直なところ日頃、敷居が高いと思っていた理事会であります。メンバーとなった今、気持ちを切り替え、保護者の方々のご意見を学校運営に少しでも反映出来るよう努力していく所存です。子供達が楽しく勉強しつつ日本の文化を学び、そして他人への思いやりを身に付けることが出来る補習校作りを目指して頑張りたいです。どうぞ一年間宜しくお願い致します。



みやた
脇田いづみ

昨年度に引き続き、本年度も創立40周年記念行事担当理事として理事会に参加させて頂く事になりました脇田いづみと申します。今年度は補習校40周年という記念すべき節目の年を迎え、子供達の心に残る思い出の年となるよう、今年1年をかけて、各種行事やイベントを企画、シンポジウムや4校が初めて一同に会し、SJジャイアンツ球場で記念式典とイベントも開催する予定です。現在、未来へと続く子ども達の為に、この歴史ある補習校を支え、皆様と補習校を結ぶ『ご縁』を大切に、学校、保護者、そして理事会がお互いに信頼し、協力し合ってこそ、より良い補習校を作っていけると確信しております。また、本年度は法規委員という大切なお役目も頂戴し、松波法規委員長の下、補習校の魅力向上を目指し、子供達が日本語環境の中で安心して学習が出来る教育環境の充実化に努めて参ります。保護者の皆様にもわかりやすく、身近な理事会となるよう、その手と手をつなぐ橋渡し役になりたいと願っております。微力ながら精一杯努めさせていただきます。

あいうえお順

学校歯科医のお知らせ

新年度より、小林矯正歯科の小林ひろみ先生に学校歯科医をお願いしました。今後、必要に応じて歯の衛生面のご指導などもして頂く予定です。

40周年記念行事実行委員会からのお知らせ

バナーの優秀賞発表

サンフランシスコ日本語補習校40周年記念バナーの投票にご協力いただきありがとうございました。いずれも素晴らしい作品揃いでした。一般投票では、堂代卓利さんSJ中学部2年生の作品(4)が優秀賞に輝きました。早速40周年記念サイトのバナーとして利用させていただきます。なお、優秀賞、準優秀賞の作品は、4月4日の入学式当日よりバナーとして各校に掲示いたします。40周年記念に相応しく素晴らしい作品です。皆様、お楽しみに。

40周年記念行事 第1弾

『ハッピーフライト』映画上映 全日空後援
 全日空様から40周年記念行事へのご支援を賜り、現在、日本で絶賛上映中の映画『ハッピーフライト』を補習校で上映出来る事になりました。ウォーターボーイズやスウィングガールズで有名な矢口史靖監督、綾瀬はるか主演の作品です。上映に先立ちまして、全日空森支店長様、浅尾40周年実行委員長よりご挨拶を頂きます。

SF校・上映日時：4月18日(土)15:10~17:00
 場所：Giannini Middle School(小学部カフェテリア)
 SJ校・上映日時：4月25日(土)15:00~17:00
 場所：Cupertino Middle School(小学部マルチパーパス)
 詳しいお申し込みは40周年ウェブサイトをご覧ください。
 桜祭りパレード・御輿担ぎ手募集

創立40周年を広めるために、補習校有志による桜祭りパレード・御輿に補習校バナーを掲げて参加します。男御輿、女御輿、子供御輿と小学部から高等部までご参加頂けます。幼稚部や低学年の児童は、保護者と一緒にハッピーを着たり、うちわを持って沿道をパレードする事も出来ます。当日は、お弁当、お土産もでするので、奮ってご参加下さい。参加申し込みは、各校保護者会のお知らせをご覧ください。なお、補習校、保護者会には関係なくあくまで、有志の集まりです。

詳しくは、40周年実行委員会のウェブサイトをご覧ください。皆様のご意見、ご要望をお待ち致しております。

人事異動

文部科学省派遣教員の着任

文部科学省派遣教員の益子明彦(ましこ あきひこ)先生が、4月3日付けで着任されました。

人事異動(2009年3月7日~4月1日付)

退職：幼SF教員 南原博美 3/7付
退職：小SF教員 島田りか 3/31付
退職：小SF教員 マットロー久子 3/31付
退職：小SJ教員 村上明子 3/31付
退職：小SJ教員 刀祢智恵子 3/31付
退職：中高SJ教員 柳原愛子 3/31付
退職：中高SJ教員 パーン真由美 3/31付
退職：中高SJ教員 大久保達夫 3/31付
採用：幼SF教員 押手裕美香 3/14付
採用：幼SJ教員 楢山依里子 4/1付
採用：小SF教員 新田邦子 4/1付
採用：小SJ教員 ハーピン恵子 4/1付
採用：小SJ教員 田中洋子 4/1付
採用：小SJ教員 飯塚陽子 4/1付
採用：小SJ用務 平野耕平 4/1付
採用：中高SF教員 沖田宏武 4/1付
採用：中高SJ教員 イエン理子 4/1付
採用：中高SJ教員 斉藤順子 4/1付

保護者の皆様へお願い

「EMERGENCY INFORMATION」の提出

およびデータベース入力について

EMERGENCY INFORMATIONのフォームは、日本語訳を参照の上、英語/ローマ字でご記入ください。緊急連絡先は、データベースの同項と同一内容で、優先順に

ご記入ください。これらの情報は、厳重かつ慎重に保管・取り扱いを行いますので、必要性をご理解いただき、至急担任に提出くださいますようお願いいたします。

データベースは本校ホームページからアクセスできます。ユーザー名およびパスワードを紛失された方は事務局へご連絡ください。なお、新入生のご家庭には近日中に郵送いたします。ログイン後、既に入力されている情報を再度ご確認ください。入力が必要な事項は次の通りです。
 *自宅住所・電話番号・携帯電話番号 *保護者勤務先情報 *Eメールアドレス *緊急連絡先情報 *幼児・児童・生徒の健康保険情報 *現地校情報 *幼児・児童・生徒の身体上のことで知らせておくこと。
ご入力・ご確認は4月12日までにお願いいたします。

緊急連絡、郵便物の発送、Eメールによる同報送信等はデータベースの情報に基づいて行われますので、入力漏れ/入力ミスのないようご注意ください。また、必要情報未入力/誤入力により生じた問題等には、補習校は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。なお、何らかの理由によりデータベースへの自己入力不可能な方は、従来通りインフォメーション・フォームをご提出願いますので、事務局へご連絡ください。

「誓約書」の提出について

4月4日、「学校生活のきまり」「学習の約束」「児童生徒の義務及び違反行為について」と一緒に、「誓約書」を配布いたしました。子どもたちが楽しく仲良く日本語補習校の学校生活を続けていくためのものです。保護者の皆様とお子さまとでよくお読みいただき、「誓約書」に必要な事項をご記入の上、至急担任に提出くださいますようお願いいたします。

主な前期日程

4月4日	始業式・入学式
4月18日	避難訓練
5月2日	SF保護者会総会/授業参観(小SF)
5月9日	SJ保護者会総会/授業参観(小SJ)
5月23日	授業参観(中高SF/SJ)
5月30日	運動会(小SJ)
6月6日	運動会(小SF)
6月13日	中高前期中間テスト
6月16日	集中学習開始(6月27日まで)
6月20日	中高球技大会
9月5日	中高前期期末テスト
9月19日	通知表提出

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。

発行人：小西 光洋

San Francisco Japanese Language Class, Inc.

760 Market Street, #816, San Francisco, CA94102

電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542

電子メール：理事会・事務局 office@sfjlc.com、学校 sfjlc@msn.com

ホームページ：http://sfjlc.org

理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等には一切お答えいたしかねます。

無断複製・転載を禁ずる。©2009 All rights reserved.